

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

主催

社会福祉法人 日本肢体不自由児協会

ミラコン 2023  
～未来を見通すコンテスト～  
第6回プレゼンカップ全国大会



令和5年12月13日（水）開催

Final Stage

会場 東京芸術劇場 5F ツフォニースペース

会員向け報告書



本報告書は会員向けとして会員及び協力団体等にのみお配りしております。  
主催者の許可を得ることなく複写・配布することは御遠慮ください。  
尚、使用しているメディア記事等資料は全て使用許諾を得ております。

第6回プレゼンカップ全国大会

# ミラコン

～未来を見通すコンテスト～

“視点を価値に、経験を未来に”

**Final Stage** (全国大会審査・結果発表)

令和5年12月13日(水) 午後1時～3時30分まで

本会場: 東京芸術劇場(東京都豊島区)

サテライト会場: 各ブロック応募校

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会  
社会福祉法人日本肢体不自由児協会

## ミラコン2023 Final Stage いよいよ開幕です

ミラコン～未来を見通すコンテスト～は、全国の肢体不自由特別支援学校高等部の生徒が“未来への提言”をプレゼンテーションする大会です。高等部生徒の言語能力を向上させるとともに、社会的自立に向けた健やかな成長を目的として、平成30年度に全国特別支援学校肢体不自由教育校長会（全肢長）主催で創設、第4回からは第1位の方に文部科学大臣賞が贈呈されるようになりました。

第6回の今回からは、全肢長に加え社会福祉法人日本肢体不自由児協会の二団体による主催となり、ファイナルステージの会場は池袋・東京芸術劇場にグレードアップしました。

ところでプレゼンカップのもう一つの目的に、オンライン型の全国大会を開催することにより、生徒の関心・意欲を高めるとともに、全国の肢体不自由特別支援学校に日常的なICT活用の機運を醸成することがあります。AI時代に生きる肢体不自由の生徒たちが自分の意見を持ち、ICT機器を活用してコミュニケーションの機会を増やすことは、生涯を豊かに生きることにつながっていくと考えます。

第6回大会も全国7つのブロックから7名のファイナリストが出場します。新鮮な発想による未来への提言を期待しています。

各ブロック大会にエントリーされたすべての生徒の皆さんとサポートをいただいた教職員の皆様に敬意を表し、ご支援を賜るすべての関係機関の皆様に感謝申し上げ、挨拶といたします。

主催者代表 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会長

ミラコン2023～未来を見通すコンテスト～第6回プレゼンカップ全国大会 審査員長 伴 光明

### 審査員の皆様

審査員長 伴 光明 （主催者 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会 会長）

副審査員長 遠藤 浩 （主催者 社会福祉法人日本肢体不自由児協会 理事長）

審査員 西 健史 様（全国特別支援学校肢体不自由教育校教頭会 会長）

有吉 万里矢 様（全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会 会長）

垣内 俊哉 様（株式会社ミライロ 代表取締役社長）

堀口 明子 様（株式会社沖ワークウェル 代表取締役社長）

織田 晃嘉 様（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

情報・支援部主任研究員）

御来賓 石田 善顕 様（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長）

菅野 和彦 様（文部科学省初等中等教育局視学官）

岡崎 俊彦 様（こども家庭庁支援局障害児支援課移行支援専門官）

中村 大介 様（東京都教育庁指導部特別支援教育指導課長）

## Final Stage 当日のスケジュール

- 13：30～ オープニング  
伴光明審査委員長による開会宣言  
司会の自己紹介・審査員の紹介・  
出場者の紹介・審査方法の説明
- 13：43～ 発表（実行委員長の事前抽選による発表順となります）  
各ブロックからのプレゼンテーション発表
- 14：35～ 講評  
文部科学省初等中等教育局 視学官 菅野 和彦 様
- 14：40～ 特別講演  
（株）ミライロ 代表取締役社長 垣内 俊哉 様  
「バリアバリュー～障害を価値に変える～」
- 14：55～ 審査結果発表
- |                |            |         |
|----------------|------------|---------|
| ☆ 観客賞          | プレゼンター及び講評 | 岡崎 俊彦 様 |
| ① 熱意賞          | プレゼンター     | 垣内 俊哉 様 |
| ② 表現力賞         | プレゼンター     | 堀口 明子 様 |
| ③ 説得力賞         | プレゼンター     | 遠藤 浩 様  |
| ④ 独創性賞         | プレゼンター     | 西 健史 様  |
| ⑤ 奨励賞(第3位)     | プレゼンター     | 有吉万里矢 様 |
| ⑥ 優秀賞(第2位)     | プレゼンター     | 織田 晃嘉 様 |
| ⑦ 文部科学大臣賞(第1位) | プレゼンター     | 石田 善顕 様 |
- 15：28～ エンディング (15:30 終了)

ミラコン 2023  
～未来を見通すコンテスト～  
第6回プレゼンカップ全国大会  
Final Stage 結果報告

<総合>

●文部科学大臣賞(第1位)

東京ブロック代表  
遊佐 一弥さん(東京都立城南特別支援学校 3年)  
『AIと共に生きる為には』

●優秀賞(第2位)

関東・甲越ブロック代表  
赤尾 真誠さん(群馬県立あさひ特別支援学校 3年)  
『生活を豊かにするドローン』

●奨励賞(第3位)

中部ブロック代表  
豊田 姫菜さん(福井県立福井特別支援学校 3年)  
『みんなが挑戦できる社会へ』

<各賞>

●熱意賞

九州・沖縄ブロック代表  
松井 直翔さん(鹿児島県立鹿児島特別支援学校 3年)  
『健常者でも障害者でも関係のない社会へようこそ』

●表現力賞

中国・四国ブロック代表  
藤井 雄太郎さん(岡山県立早島支援学校 3年)  
『バリアフリー化のさらなる高みへ』

●説得力賞

北海道・東北ブロック代表  
野呂 律稀さん(青森県青森第一高等養護学校 2年)  
『冬の装具について』

●独創性賞

近畿ブロック代表  
西元 明日香さん(京都府立中丹支援学校 3年)  
『常識をぶち壊せ～This is us～』

★観客賞

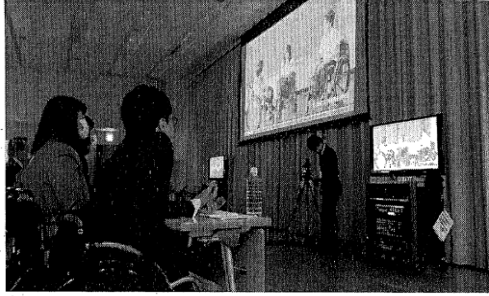
中国・四国ブロック代表  
藤井 雄太郎さん(岡山県立早島支援学校 3年)  
『バリアフリー化のさらなる高みへ』

# 未来社会の在り方とは

## 全国の肢体不自由の高校生が提言

### ミラコン2023を開催

僕たちの発信を未来に つなげて。全国の肢 体不自由の特別支援校、 東京都豊 高専部に通う生徒たち 7人の代表生徒が プレゼンテーションの 大 会「ミラコン2023」の 未来を語り出す。ミラコン2023は、AIなどの最新のテ



クノロジーを使った問題 解決を提案したり、ハリ ンテは、今回の全 国特別支援校肢体不自由 教育委員会と日本肢体 不自由協会の共催とな り、新たにとも家庭序 列「アシスト車イス」と も後援。各校から沢山の 生徒が参加し、各地の 予選を勝ち抜いた7人の 生徒が各校からオンラ インで発表に臨んだ。

最優秀賞の文芸科学大 臣賞に輝いたのは、東京 都立城南特別支援学校高 等部3年生の遊佐一弥さ ん。遊佐さんはAIにつ いて調べる中で、自分の 身の回りのものでAIが あったらいいなと思うの がある。それは車イス ……

生徒のアレゼンテーショ ンに聞き入れる審査員ら Ⅱ に負担を掛けず身の回

り、60回目を迎える向コ ンテストは、今回の全 国特別支援校肢体不自由 教育委員会と日本肢体 不自由協会の共催とな り、新たにとも家庭序 列「アシスト車イス」と も後援。各校から沢山の 生徒が参加し、各地の 予選を勝ち抜いた7人の 生徒が各校からオンラ インで発表に臨んだ。

最優秀賞の文芸科学大 臣賞に輝いたのは、東京 都立城南特別支援学校高 等部3年生の遊佐一弥さ ん。遊佐さんはAIにつ いて調べる中で、自分の 身の回りのものでAIが あったらいいなと思うの がある。それは車イス ……

生徒のアレゼンテーショ ンに聞き入れる審査員ら Ⅱ に負担を掛けず身の回

り、60回目を迎える向コ ンテストは、今回の全 国特別支援校肢体不自由 教育委員会と日本肢体 不自由協会の共催とな り、新たにとも家庭序 列「アシスト車イス」と も後援。各校から沢山の 生徒が参加し、各地の 予選を勝ち抜いた7人の 生徒が各校からオンラ インで発表に臨んだ。

最優秀賞の文芸科学大 臣賞に輝いたのは、東京 都立城南特別支援学校高 等部3年生の遊佐一弥さ ん。遊佐さんはAIにつ いて調べる中で、自分の 身の回りのものでAIが あったらいいなと思うの がある。それは車イス ……

生徒のアレゼンテーショ ンに聞き入れる審査員ら Ⅱ に負担を掛けず身の回

り、60回目を迎える向コ ンテストは、今回の全 国特別支援校肢体不自由 教育委員会と日本肢体 不自由協会の共催とな り、新たにとも家庭序 列「アシスト車イス」と も後援。各校から沢山の 生徒が参加し、各地の 予選を勝ち抜いた7人の 生徒が各校からオンラ インで発表に臨んだ。

ったが、審員が多くな ったが、審員が多くな ったが、審員が多くな

り、60回目を迎える向コ ンテストは、今回の全 国特別支援校肢体不自由 教育委員会と日本肢体 不自由協会の共催とな り、新たにとも家庭序 列「アシスト車イス」と も後援。各校から沢山の 生徒が参加し、各地の 予選を勝ち抜いた7人の 生徒が各校からオンラ インで発表に臨んだ。

最優秀賞の文芸科学大 臣賞に輝いたのは、東京 都立城南特別支援学校高 等部3年生の遊佐一弥さ ん。遊佐さんはAIにつ いて調べる中で、自分の 身の回りのものでAIが あったらいいなと思うの がある。それは車イス ……

旬の話題をお届けします！



全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

# 全肢長通信

令和5年度 第5号 令和5年12月18日  
(不定期発行)



会長 伴 光明  
(都立あきる野学園)



## Final Stage @ 池袋・東京芸術劇場！

ミラコン2023～未来を見通すコンテスト～  
第6回プレゼンカップ全国大会



文部科学省初等中等教育局  
石田善顕特別支援教育課長  
から賞状・副賞が贈られました。



弾ける笑顔と  
ガッツポーズ！

文部科学大臣賞に輝いた  
都立城南特別支援学校  
(水江知子校長) 高等部3年遊佐一弥さん

各地区大会で一位となり全国大会へ進出した7名の皆さんによるファイナルステージ。6回目となる今年は池袋・東京芸術劇場に会場を移し、熱のこもった素晴らしいプレゼンテーションが繰り広げられました。7名それぞれの視点や経験を言語化し、さらに伝える、分かってもらうための工夫がふんだんに取り入れられたプレゼンばかりでした。審査員一同、大いに悩まされる大会でした。

全肢長会員の校長先生方には期間限定でYouTube配信をご覧いただけます。校長先生

の監督の下であれば、御所属の教員や生徒に視聴させることも可能です。垣内俊哉社長（株式会社ミライロ）の講演「バリアバリュー（障害を価値に）」は御校の生徒の心に勇気の灯をともしたいと思います。菅野和彦視学官の講評でミラコン2024に向けて「多様なものの見方・考え方」を期待する、というキーワードが示されました。次回大会に向けた意欲を高めるためにも限定配信動画をぜひご利用ください！



「観客賞」はこども家庭庁岡崎俊彦移行支援専門官がプレゼンターを務めてくださいました。

### ミラコン2023 第6回プレゼンカップファイナルステージ進出者と審査結果

文部科学大臣賞 (第1位)	東京	「AIと共に生きる為には」 遊佐 一弥 (東京都立城南特別支援学校 高等部3年)
優秀賞 (第2位)	関東・甲越	「生活を豊かにするドローン」 赤尾 真誠 (群馬県立あさひ特別支援学校 高等部3年)
奨励賞 (第3位)	中部・北陸	「みんなが挑戦できる社会へ」 豊田 姫菜 (福井県立福井特別支援学校 高等部3年)
熱意賞	九州・沖縄	「健常者でも障害者でも関係のない世界へようこそ」 松井 直翔 (鹿児島県立鹿児島特別支援学校 高等部3年)
表現力賞 ★観客賞	中国・四国	「バリアフリー化のさらなる高みへ」 藤井 雄太郎 (岡山県立早稲支援学校 高等部3年)
説得力賞	北海道・東北	「冬の装具について」 野呂 律稀 (青森県立青森第一高等養護学校 高等部2年)
独創性賞	近畿	「常識をぶち壊せ」～This is us～ 西元 明日香 (京都府立中丹支援学校 高等部3年)

映像は教育新聞連載版、今後紙面に掲載されるものと思われます。ぜひ期待。

未来社会の在り方とは 全国の肢体不自由の高校生が提言

「観客賞」はこども家庭庁岡崎俊彦移行支援専門官がプレゼンターを務めてくださいました。

令和6年1月26日

文部科学大臣 盛山 正仁 殿

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会  
会 長 伴 光明  
社会福祉法人日本肢体不自由児協会  
理事長 遠藤 浩

文部科学省名義使用等に係る事業実施報告書の提出について

令和5年7月4日付け5文科総第659号で許可された文部科学省名義等の使用について、この度、当該許可に係る行事が無事終了しましたので、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 行事等の名称及び主催者

名称 ミラコン 2023～未来を見通すコンテスト～第6回プレゼンカップ全国大会  
主催者 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会 会 長 伴 光明  
社会福祉法人日本肢体不自由児協会 理事長 遠藤 浩

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会ミラコン 2023 実行委員長  
田村康二郎

2 行事等の期間及び場所

期 間 令和5年8月1日から令和5年12月13日まで

場 所 全国7ブロック  
北海道・東北ブロック／ 関東・甲越ブロック／ 東京ブロック  
中部ブロック／ 近畿ブロック／ 中国・四国ブロック  
九州・沖縄ブロック

全国大会 令和5年12月13日（水曜日）午後1時半から3時半まで  
会 場 東京芸術劇場 5Fシンフォニースペース

3 開催規模

全国の肢体不自由特別支援学校高等部、準ずる教育課程及び知的障害を併せ有する生徒のための教育課程に在籍する生徒による「未来社会への提言」を発表した。今回の第6回大会は全国7つのブロック37校87作品から、ブロック審査で最優秀作品となった1点が推挙されて全国大会が開催された。第1回全国大会から遠隔通



信システムを導入して大会会場と出場者の学校をオンラインでつないで運営をしており、発表はプレゼンテーションを事前にDVDに保存し、会場で審査員が視聴、続いて遠隔システムで質疑応答する形式で実施した。大会の様子は YouTube 限定配信をおこなうことで全国大会出場者だけでなく全国特別支援学校肢体不自由教育校長会に所属する学校の児童・生徒が視聴できることで学びの機会とすることができた。

<大会当日の参加者>

来賓 4名 審査員 7名 司会者（外部委託） 1名 審査員同行者 2名  
全国大会出場者 6名（体調不良のため 1名欠席）  
遠隔通信協力企業技術者 8名 事務局運営スタッフ 17名  
東京都肢体不自由特別支援学校校長及びPTA会長及び地域支援者 34名  
全国肢体不自由特別支援学校へ限定オンライン配信実施

#### 4 使用した文部科学省名義

【後援】

#### 5 交付した大臣賞（等）

- ・文部科学大臣賞（第1位）賞状授与
- ・優秀賞（第2位）
- ・奨励賞（第3位）

上位3位以外で、表現力賞（表現力にすぐれた作品）、熱意賞（熱意にあふれた作品）、説得力賞（説得力のある作品）、独創性賞（独創性のある作品）を各1作品授与

当日会場で参観した方が選んだ観客賞を1作品授与

#### 6 名義を使用した場合、その使用期間及び使用方法

令和5年8月1日から令和5年12月13日まで

事務局が発出した実施要項、主催団体と協力企業社会貢献部門のWebサイト  
全国大会当日のしおり、主催団体及び関係機関宛の報告冊子に記載した。

#### 7 大臣賞を交付した場合、その相手方

東京都立城南特別支援学校 高等部三年 遊佐 一弥 殿

#### 8 事務担当者連絡先

郵便番号 208-0012

住所 東京都武蔵村山市緑が丘 1460 番地 1

団体名 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

所属部課等名 東京都立村山特別支援学校

担当者氏名 佐々木 孝之（第6回プレゼンカップ実行委員会事務局次長）

電話番号 042-564-2781

FAX番号 042-564-3844

メールアドレス Takayuki\_1\_Sasaki@member.metro.tokyo.jp

## 収 支 決 算 書

○行事等の名称：ミラコン 2023～未来を見通すコンテスト～第6回プレゼンカップ全国大会

○主催者等名：全国特別支援学校肢体不自由教育校長会 会長 伴 光明  
 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会 理事長 遠藤 浩

### 1. 収入の部

費目	内訳	金額（円）
前期繰越金		14,050
自己資金	全国特別支援学校肢体不自由校長会より	200,000
賛助金	全国特別支援学校教頭会より	100,000
協賛金	全国特別支援学校 PTA 連合会より	100,000
協賛金	社会福祉法人日本肢体不自由児協会より	100,000
	合 計	514,050

### 2. 支出の部

費目	内訳	金額（円）
ブロック審査諸費用	45000円×7ブロック+戻入金 41703円	273,297
全国大会審査員謝礼	10000円×1名	10,000
全国大会司会者謝礼	30000円×1名	30,000
全国大会賞品費	賞品盾、賞状、参加記念品	56,892
会議費	資料代、大会運営費等	11,716
通信費	切手等郵送代、手数料	13,230
次期繰越金		118,915
	合 計	514,050

・不足が生じた場合には、主催者等が負担するものとする。



ミラコン 2023～未来を見通すコンテスト～  
第6回プレゼンカップ実行委員会 事務局

